



# 進徳の園

真岡市立大内中央小学校

学校だより 第7号

平成30年 11月22日

**徳を進め、業を修める (建学精神)**

教育目標 (よく考える子 心ゆたかな子 がんばる子)

## 【校長室から】

11月5日(月)の朝会では、「大人物の生き方から学ぼう」という題で講話をしました。今年には明治維新から150年目の記念の年にあたります。明治維新の功労者といえ、西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允があげられます。NHKの大河ドラマでも「西郷どん」が放映されています。戊辰戦争で敵方からも尊敬された人物ということで、「大人物」として西郷隆盛を取り上げました。

西郷は、1827年、薩摩国(現在の鹿児島県)下加治屋町に生まれました。7人兄弟の長男であり、下級武士の家に生まれたので、貧しい生活でした。家の生活を助けるため、弟や妹にひもじい思いをさせないため、隆盛は夜明け前に家を出て、畑を耕しました。また、掛け布団は、1枚しかなかったため、幼い弟を真ん中にして、男兄弟3人でかぶって寝ました。

薩摩藩では、男子は、郷中(近隣)で先輩から教育を受けました。10歳ぐらいになると、稚児と呼ばれ、論語の素読や習字、相撲、競走を学びました。15歳になると、二才(にせ)と呼ばれ、四書五経、学問、剣術(示現流)を学びました。学問の先生は、大久保利通の父、次右衛門でした。(このような郷中教育から、薩摩の偉人たちは生まれたのです。)

西郷が藩校に通っているとき、一方的な恨みにより、後ろから鞘に入ったままの刀で切られ、腕に大けがをし、十分に刀を使うことができなくなりました。(武士にとって刀を使えないことは、大きな恥辱でした。)しかし、西郷は、そのけがを「学問に打ち込めということだ」とプラスに解釈して、学問に打ち込みました。その後、尊敬する藩主、島津斉彬のもとで活躍しますが、斉彬は急死してしまいます。次の藩主、島津久光に対しては、尊敬できないため反抗し、疎まれます。西郷は、僧、月照とともに海に身投げをしたり、2度の島流しの刑を受けたりします。しかし、その逆境を乗り越えて、活躍し、明治維新を成し遂げる大人物になるのです。英雄にもこのような苦労があるのです。苦労を乗り越えたからこそ、優れた人物になれたのです。また、私たち(自分)の苦労などは、たいしたものではないと勇気づけられるのです。

児童の皆さん、大人物(偉人)について、まず、「知る」ということが大切です。次に、「大人物の生き方から学ぶ」ということが大切なのです。児童の皆さんも、伝記、小説、ドラマ、マンガから大人物について「知り・学び」、自分の人生に生かしてほしいと話をしました。



読書祭り「お勧めの本紹介」

## 読書祭り 11/6

本校の特色ある活動の1つに挙げられる「読書祭り」が行われました。図書委員会が準備や進行を担当しました。読書感想文賞を受賞した児童が、「お勧めの本」を紹介しました。また、音読賞を受賞した児童が、「詩の朗読」を行いました。

読み聞かせボランティアの方々の劇は、「寿限無」で、落語仕立てで、子供たちを引きこむ楽しいものとなりました。自分の名前について考えるよい機会にもなったと思います。



詩の朗読発表



劇「寿限無」



## ふれあい交流活動 10/21

大内中央小学区健全育成会長の高野様をはじめ、各区長様、公民館長様、老人会、育成会の役員の方々、PTA、地域の方々の御尽力で、ふれ合い交流活動が楽しく行われました。天候に恵まれ、グランドゴルフ、輪投げ、二人三脚、パン食い競争など、三世代の交流ができ、笑顔いっぱいの活動となりました。



金管バンドの演奏



輪投げ

## 1年生生活科校外学習 11/1

1年生が、生活科校外学習で給食センターと根本山自然観察センターに行ってきました。給食センターでは、大きな鍋や大きなしゃもじ、大きなひしゃくを使ってたくさんの給食を作っている様子を見学しました。根本山自然観察センターでは、秋の自然や植物の様子を観察しました。また、落ち葉等を使って、作品を作ることができました。好き嫌いをしないで、残さず食べることの大切さが分かったり、秋の自然に親しむ心が育ったりすることを期待しています。



給食センター



根本山自然観察センター

## 2年生SL体験乗車 11/1

2年生が、SLに体験乗車をしました。一時代を作ったSL。今では、昔の勇姿を偲ぶものですが、真岡鐵道にSLが走っているので、体験乗車ができたのです。もくもくと煙をたくさんはきながら走り、汽笛を鳴らす重厚感、車両に乗ってしみじみとを感じるものです。また、集団での行動や乗り物でのマナーを学ぶ機会にもなりました。



SLをバックに記念写真



益子町北公園